

一般社団法人日本人間工学会第74回理事会 議事録

1. 開催日:2024年12月23日(月) 17:00~18:55

2. 開催場所:オンライン Zoom による遠隔会議

3. 出席理事: <敬称略>

・理事会構成員(27名・定足数14名以上)

(理事):鳥居塚崇(理事長),中西美和(副理事長),石橋圭太(若手支援),井出有紀子(企業活動),
加藤麻樹(学術),齋藤誠二(若手支援),下村義弘(広報),申紅仙(総務),能登裕子(学術),
松崎一平(普及),松田文子(広報),村木里志(編集),持丸正明(国際・戦略),横井元治(財務),
横山詔常(企業活動),吉村健志(財務),和田一成(普及) [17名]

(理事兼支部長):小林大二(北海道・第65回大会),松田礼(関東),横山清子(東海),有馬正和(関西),
石原恵子(中国・四国),小崎智照(九州・沖縄) [6名]

[計:23名]

(欠席者):河合隆史(総務),國澤尚子(表彰),高橋信(東北),八木佳子(国際)

・監事:赤松幹之,白井伸之介

・オブザーバー:榎原毅(認定機構・国際誌・第66回大会),佐藤洋(JENC・標準化推進),吉武良治(表彰)

・事務局:西原彩,米倉裕美

※全員ネット会議出席者

4. 議事概要

定足数14名を超える23名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後,定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1) 第1号議案 プロジェクトの定義について(理事長)

・日本人間工学会受託研究規程 改定案

鳥居塚理事長より,今年度よりスタートしたプロジェクトの定義・位置付けについては,受託研究規程に準じるものであるため,規程にプロジェクト名を加える等の改訂を行いたい旨説明があり,審議の上承認された。

第5条の研究費前納についての記載と,プロジェクトという名称が妥当かどうかという意見があり,この2点については,今後の検討事項とすることを確認した。

(2) 第2号議案 日本人間工学会委員会規程の改定案について(理事長)

鳥居塚理事長より,前期理事会で承認され廃止した安全人間工学委員会を,委員会規程から削除すること(研究がメインの委員会についてはプロジェクトへ),および学術担当を学術委員会に変更するため,委員会規程に追記することを説明し,異議なく承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 申総務理事が、第 73 回理事会議事録について報告した。

(1-2) 会勢報告

2024 年 11 月末現在、会員数 1,237 名(+22 名)、賛助会員 21 社 22 口(-1 社-1 口)について報告。

(1-3) メールによる審議等の結果 1 件について報告。

(1-4) 協賛等の依頼 6 件について報告。

(1-5) 法人化後に使用している理事長という名称だが、他学会では会長を利用しているところも多く、理事長以外に会長もいるのではという誤解を生むため、理事長と合わせて会長の名称も学会 HP 等で使用していきたい旨説明があり、今後は会長名称も使用することとなった。今後定款を変更する際に合わせて、会長を代表理事とする旨の改定を検討する。

(2) 財務報告 11 月度収支計算書

横井財務理事より、11 月度収支計算書について概ね例年通りの旨報告があった。会費の再請求を適時実施している。

(3) 第 66 回大会(2025 年 5 月 21~23 日)準備状況報告

榎原第 66 回大会長より、大会ホームページを公開した旨報告があった。今大会では演題申込時に利益相反開示、倫理的配慮についての確認がある。今大会テーマを"Borderless"とし、テーマに沿った新たな取り組みとして、公用語は日本語と英語で、発表口頭は日本語でよいが、スライドは英語で作成が必要。発表時には AI 活用による日本語-英語翻訳文がスクリーンに示される旨報告がなされた。特別講演は、IEA が支援するコロンビアの大学院の人間工学博士課程を担当するディレクターに依頼予定。定時社員総会と大会懇親会は最終日の 5 月 23 日に開催する。

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 広報委員会

松田委員長より、支部大会にて人間工学 GPDB の PR 発表を行った旨報告があった。2024 年の人間工学 GPDB 登録は 5 件の予定、GP 賞の選考を例年より早く 1 月から審査を始める。企業の方に学会活動を PR するために、学会誌を配布できればと検討しており、今後具体的に進める予定。

(4-2) 編集委員会

村木委員長より、学会誌の発行状況や理事リサーチ・イシュー、支部大会での広報活動の報告があった。編集委員会 NL 発行の準備を進めている。広報委員会提案の学会誌配付には賛成。

(4-3) 国際協力委員会

持丸委員長と鳥居塚理事長より、IEA が大阪万博での企画を計画しており、JES も協力してほしいと依頼があり対応を検討中との報告があった。12 月 11 日に台湾人間工学会長含め 6 名が来日し、産総研とイトーキの見学や懇親会などの対応を行った。日本と台湾の人間工学会での連携を今後も進め、アジア圏での交流を深めたい。日韓シンポジウムを拡大して、台湾も加えての 3 か国で来年度から開始したいと計画している。台湾人間工学会の大会は 3 月に開催され、海外からの参加申込も募集しているので、ぜひ可能であれば参加してほしいとの広報があった。

(4-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より、SC4 総会を 11 月 4 週目に産総研柏センターで開催した旨、報告があった。SC5で提案しているアクセシブルデザインの標準 2 件について、事務的な手続きが上手くいかずキャンセルになってしまい、対策を協議している。

(4-5) 表彰委員会

吉武委員長より、次年度に向けて各種表彰の準備を年明けより進める旨、報告があった。

(4-6) 学術担当(学術委員会)

加藤委員長より、委員会になったことの報告と、今後の活動予定について説明があった。

(4-7) 人間工学専門家認定機構

榎原機構長より、2025年2月15日に大阪で開催する専門家認定試験の応募を1月10日まで受け付けているので、ぜひ周辺の方に呼びかけて欲しいとお願いがあった。2025年4月18日に機構講演会と総会を開催すること、各支部大会で機構PR発表を実施した旨報告があった。

(4-8) 若手支援委員会

石橋委員長より、12月7日に関東支部大会で認定機構と共同で若手向け企画セッションを開催したこと、ライフイベント等に関する会費免除に関する規程については総務理事と相談中の旨、報告があった。

(4-9) 企業活動推進委員会

横山委員長より、人を対象とした研究倫理をテーマにオンラインセミナーを11月28日に開催し、約50名が参加した旨報告があった。初めて有料セミナーを開催し、参加費の設定や講師謝金の基準、配布資料の利用範囲など悩む点が複数あったので、学会としての取り決め(基準)を作成してもらえると運営しやすい旨お願いがあった。Zoomのウェビナーも人数が増えたら利用を検討したほうがよい。

鳥居塚理事長より、次回セミナーまたは理事会までには、倫理的なガイドラインを利益相反・倫理委員会を中心に作成したい旨説明があった。今後もセミナー開催にあたり懸念事項があれば、共有してほしいとお願いがあった。

(4-10) 国際誌検討委員会

村木副委員長より、委員組閣中の旨報告があった。

(4-11) 普及委員会

和田副委員長より、学会員向けに企画しているオンライン読書会の詳細説明があった。多彩な分野の本の紹介を通して、人間工学への関心を高め、他分野との交流に寄与したい。第1回は2月末頃に開催予定で、年3回を目標としている。

鳥居塚理事長より、軌道に乗ったら学会員以外の関連する方への啓蒙も進めてもらいたい旨、お願いがあった。

(4-12) 戦略・将来構想委員会

持丸委員長より、第66回大会での企画セッションを検討中の旨、報告があった。

(4-13) PSE 委員会

鳥居塚委員長より、システムズアプローチについての検討をIEAメンバーと情報収集中で、その成果を第66回大会で紹介したい旨報告があった。

(4-14) 利益相反・倫理委員会

鳥居塚副委員長より、有料セミナーにおける倫理的なガイドラインと、利益相反に関する規程を作成するために、委員会メンバーを組織している旨報告があった。

(4-15) 人間工学研究標準化推進委員会

今回はなし.

(5) プロジェクト報告

・ABW

事務局西原より,これまでの委託業務費(学会立替分)の支出状況について報告があった.

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

小林支部長より,人間中心設計・研究セミナーを11月16日に小樽商科大学にて開催し盛況であった旨,報告があった.

(6-2) 東北支部

今回はなし.

(6-3) 関東支部

松田支部長より,12月7日(土)に第54回関東支部大会・第30回卒業研究発表会を持丸正明大会長のもと,産総研臨海副都心センターにて開催した旨,報告があった.支部総会も同日に開催した.2025年3月に見学会と講演会を予定している.2025年の支部大会は芝浦工業大学にて開催する.

(6-4) 東海支部

横山支部長より,11月2日(土)に東海支部2024年研究大会を松河剛司大会長のもと,愛知工業大学にて開催し参加者74名,発表26件だった旨,報告があった.支部大会にて表彰も実施した.人間工学測定技法講座を12月3日にオンラインで開催し,参加者42名だった.

(6-5) 関西支部

有馬支部長より,11月30日(土)に2024年度関西支部大会を摂南大学にて開催し,参加者約91名だった旨,報告があった.1月24日に見学会,2月21日に異分野連携交流サロンを計画中.支部の評議員選挙の準備を進めている.

(6-6) 中国・四国支部

石原支部長より,11月30日(土)に中国・四国支部第55回大会を土屋敏夫大会長のもと,徳山デックスにて開催し参加者32名,講演16件だった旨,報告があった.土曜に授業がある学生さんもいて,発表者が少なめだった.2月24日と3月20日にマツダ株式会社にて企業見学会を開催する.

(6-7) 九州・沖縄支部

小崎支部長より,11月30日(土)に九州・沖縄支部第45回大会を中島弘貴大会長のもと,長崎大学にて開催し,参加者約30名,8演題だった旨,報告があった.

(7) その他

・今後の理事会等日程について

申総務理事より,次回第75回理事会は2025年2月後半~3月初め頃,第76回理事会は2025年4月~5月頃に開催予定の旨,説明があった.

鳥居塚理事長より,第66回大会に合わせて理事会を開催するか否かは検討中で,5月24日(土)午前中か,5月21日(水)を候補日としている.

(8) 閉会

以上の議事を終え,18時55分に閉会した.

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

2024年12月23日

代表理事

監事

監事

鳥居塚 崇 印

赤松 幹之 印

臼井 伸之介 印